

令和5年第4回臨時会

江東区教育委員会会議録

令和5年8月17日（木）

江東区教育委員会

令和5年第4回江東区教育委員会臨時会会議録

- 1 開会年月日 令和5年8月17日（木）午前10時00分
- 2 閉会年月日 令和5年8月17日（木）午前11時43分
- 3 開会場所 江東区教育センター 大研修室
- 4 出席委員 本多健一朗（教育長）、本田和恵（教育長職務代理者）、安部敏啓、鈴木清人、浅野美智子
- 5 出席職員 杉村教育委員会事務局次長、星名庶務課長、西尾学校施設課長、太田整備担当課長、賀来学務課長、飯塚指導室長（教育センター連絡調整担当課長兼務）、木内教育支援課長（教育センター所長兼務）、笠間地域教育課長、榎本江東図書館長、関戸深川図書館長

6 協議事項

- (1) 令和6年度小学校教科用図書採択について

7 審議概要

本多教育長 それでは、ただいまより令和5年第4回江東区教育委員会臨時会を開会いたします。

本日の会議について傍聴したい旨20名の申出がありました。江東区教育委員会傍聴規則第3条では、傍聴人の定員は5名と定められているところですが、同規則第9条に基づき、本日の会議については定員を75名とし、全ての方々の傍聴を認めますので、事務局は速やかに傍聴人を入室させてください。

（傍聴人入室）

本多教育長 傍聴人の方をお願い申し上げます。本日は、お暑い中、ありがとうございます。

教育委員会の規則では、傍聴人は5名と定められているところですが、本日に限りまして、定員を75名と拡大させていただき、傍聴を希望された全ての方々に御入場いただいているところでございます。教育委員会では、教科書採択の議論を静ひつな環境の下で行いたいと思いますので、どうぞ皆さんの御協力をお願いしたいと思います。

また、会議の秩序を乱し、議事の妨害となるような行為があった場合につきましては、教育委員会傍聴規則に基づき、傍聴人の方に退場を命じますので、御留意くださるよう、よろしくお願いいたします。

それでは、本日の会議録署名委員を御指名いたします。浅野委員、本

田委員をお願いいたします。

それでは、審議に入ります。

協議事項1 令和6年度小学校教科用図書採択についてを議題といたします。

なお、審議に入る前の確認事項といたしまして、今回の教科書採択に係る公正な選定、採択手続を期するために、本委員会の教科書採択の資料及び会議録については採択が終了した後に情報公開に付すことといたしたいと思います。御異議ありませんでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

本多教育長 それでは、議題に入りたいと思います。本案について事務局より説明願います。

指導室長。

飯塚指導室長 それでは、本日の教科書採択の流れについて御説明いたします。

今回の教科書採択では、令和6年度から9年度の4年間、小学校・義務教育学校前期課程で使用する教科書について御審議いただき、採択していただくこととなります。

資料1「小学校教科用図書教科別発行者一覧」を御覧ください。今回の採択対象となる教科書発行者を資料に示してあります。丸印のついております発行者が採択対象となっており、二重丸をつけている発行者は、現在使用されている教科書の発行者でございます。

ここに示された採択対象となる全ての教科書についての詳細な研究と採択資料作成委員会での審議の結果をまとめて教育委員会に提出されたものが資料2「江東区立学校教科用図書採択資料作成委員会 結果報告書」でございます。教科書の種類ごとに1枚にまとめております。この後、委員の皆様には教科ごとに御審議いただきますが、各教科の冒頭に私から採択資料作成委員会で話題となった主なポイントについてお伝えさせていただきます。

なお、この採択資料作成委員会結果報告書の基になった資料が、資料3「教科書調査研究資料(小学校)」、資料4「編修趣意書」、資料5「江東区立学校教科用図書調査研究結果」、資料7「教科書展示会で寄せられた意見などについて」(一般)、資料8「教科書展示会で寄せられた意見などについて」(区立学校教員)の5点でございます。

資料3「教科書調査研究資料(小学校)」には、東京都教育委員会で行いました調査研究内容がまとめられております。資料4「編修趣意書」は、教科用図書の編修の趣意について、各発行者が記述したものを収録したものでございます。資料5「江東区立学校教科用図書調査研究結果」は、各教科、発行者ごとに本区の調査部会の委員が5月の中旬から6月の中旬にかけて詳細な調査研究を行い、その結果をまとめたものでございます。

続いて、資料6「令和5年度教科書展示会来会者集計表」についてです。本区では、教科書展示会を6月1日から6月30日まで江東区の教科書センターで開催いたしまして、203名の参加がございました。内訳といたしましては、区民一般の方々が131名、教員が72名となっております。

また、区立学校4校で、具体的には6月6日から6月15日まで平久小学校と香取小学校で、6月20日から29日まで第五大島小学校と有明西学園で区立学校教員を対象に展示会を実施し、近隣校の教員が参加するなどしました。さらに、6月17日から22日まで江東図書館、深川図書館で、6月24日から29日まで城東図書館、豊洲図書館で展示会を実施しております。ここでいただきました区民・一般の方の意見をまとめたものが資料7、資料8の「教科書展示会で寄せられた意見などについて」でございます。

本日は国語、書写、算数、生活、音楽、図画工作、外国語の7つについて、次回は社会、地図、理科、家庭、保健、特別の教科道徳の6つについて御審議いただきます。

なお、本日は教科書の見本も準備しておりますので、併せて御覧いただきたいと存じます。よろしく申し上げます。

私からは以上です。

本多教育長 指導室長からの説明にもありましたけれども、本日は国語、書写、算数、生活、音楽、図画工作、外国語の7つについて御審議いただき、その他のものにつきましては、次回の教育委員会で審議することといたします。

それでは、まず初めに国語について審議いたします。委員の皆様におかれましては、国語の教科書の御準備をよろしく願いいたします。

よろしいでしょうか。

それでは、事務局より説明を願います。

指導室長。

飯塚指導室長 国語科においては、言葉による見方・考え方を働かせ、「話すこと・聞くこと」や「書くこと」、「読むこと」などの言語活動を通して日常生活に必要な国語について正確に理解し、適切に表現する資質・能力を育成することを目指しております。

なお、採択資料作成委員会で話題となった主なポイントは、国語スタンダードについて、学習の見通しについて、俳句教育について、児童の使いやすさについて、教員の指導のしやすさについて。

以上でございます。

本多教育長 それでは、国語について御審議いただきたいと思います。御意見がございましたら、挙手をよろしく願いいたします。

安部委員。

安部委員 こどもたちにとって国語は、他の教科と比べると、どんなことを学習するのか少し分かりづらい教科なのではと個人的には思っていました。今、教科書を見てみると、各社ともに巻頭のページで、その学年でどのような学習をし、どんな力を身につけるのかがきちんと書かれているように感じます。これなら、これからどんな学習をしていくのか見通しを持つことができると思います。

その中でも光村図書出版は、その学年で学習することだけではなく、前の学年で学習したことも書かれているようです。これまでに学習してきたことがどんな学習につながっていくのかよく分かると思います。

本多教育長 今、見通しのことについてお話をいただきました。

ほか、いかがでしょうか。

浅野委員。

浅野委員 私も光村図書出版の巻頭ページを見ています。光村図書出版には、年度の初めに国語の学習でできるようになりたいことや楽しみなことを書くページがあります。こどもたちに1年間の目標や楽しみを持って学習に取り組ませることはとてもよいと思います。

本多教育長 ありがとうございます。最初のほうのページのところについて、今御意見をいただいたかなと思います。

ほか、いかがでしょうか。

本田委員。

本田委員 学習の見通しというお話ですけれども、東京書籍は、読み物の教材の前に見開きで学習の見通しが持てるページがあります。この学習を通してどのような言葉の力を身につけさせたいのか、そして、文章を読んでどんなことを考えたらいいのか分かりやすく書かれているなと思いました。

ほかの2社も、本文の後の学習ページに「見通しをもとう」と書かれているんですけれども、東京書籍は本文の前にあるというのが特徴的だと思います。文章を読む前からどんな学習をするのか分かっていると、見通しを持った学習がしやすいのではないかと考えました。

以上です。

本多教育長 ありがとうございます。

ほか、いかがでしょうか。

鈴木委員。

鈴木委員 私は今、3年生の教科書にある「モチモチの木」という物語を見ています。学習の見通しという話題でしたけれども、私は、学びを深めるためにも自分が学んだことを振り返る時間も大切だと思っています。

各社とも振り返りの問いというのが書かれていますけれども、東京書籍は1つ、教育出版は2つ、光村図書出版は3つ書かれています。数が多ければよいというわけではないんですが、光村図書出版は、「知る」、「読む」、「つなぐ」の観点で振り返ることもできるので、自分の学習を多面的に振り返ることができるのではないかと思います。

本多教育長 ありがとうございます。各委員から出てきたポイントは、今学習指導要領で重視されている主体的な学びというところにつながるかなと思います。特に学習の見通しとか振り返りという部分について御意見をいただきましたけれども、やはり見通しを持って学習するということとか振り返りというのは、子どもたちが主体的に学ぶためには重要なポイントかなと思っています。

ほかの御意見、いかがでしょうか。

浅野委員。

浅野委員 私は、4年生で学習する「ごんぎつね」を見ています。この物語は、3社とも載っている名作です。そこで、学習課題が示されているページを見比べてみたのですが、教育出版は、「たしかめよう」とか「くわしくよもう」とか、一目でどんな学習か分かるようになっています。児童にとって学習しやすいと思います。

光村図書出版も同様に「とらえよう」とか「ふかめよう」とか、一目で分かるので見やすく感じます。

本多教育長 ありがとうございます。今、ごんぎつねのところについてお話がありました。

いかがでしょうか。

本田委員。

本田委員 私も今、同じごんぎつねのページについてなんですけれども、各社ともにノートの例や考え方の例が示されています。いろいろな例があって、学習が苦手な児童や支援が必要な児童にとっては、どのように考えればいいのかヒントになるのではないかなと感じました。

その中で、光村図書出版はほかの2社に比べると例は少し少ないのですが、感想の書き方の例があります。書き方の例というので、自分で考

えるヒントになるかなと感じました。

以上です。

本多教育長 ありがとうございます。「モチモチの木」とか「ごんぎつね」とか、今、教材を見比べながら視点が広がってきたところでありますけれども、ほか、いかがでしょうか。

安部委員。

安部委員 以前、国語スタンダードの中でも、文章の構成を考えて書くことに課題があると伺っていました。文章の構成を考えて書くというのはとても難しいことだと思いますが、社会に出てからも必要な力なので、ぜひ身につけてほしい力でもあります。

そこで、文章の構成についての点で、東京書籍は、6年生の「原因と結果」とか「事実と考えを整理する」という方法が示されています。文章の構成を考えるのによい方法だと思います。

以上です。

本多教育長 ありがとうございます。文章の構成というところで御意見をいただいたかなと思います。

ほか、いかがでしょうか。

鈴木委員。

鈴木委員 教育出版や光村図書出版にも文章の構成を考えて書くという学習があります。光村図書出版は付箋を使って構成を考える方法が示されておりまして、付箋を使えば順番を簡単に入れ替えることができるので、文章の構成を考えるには、こちらもよい工夫だと思います。

教育出版は、構成を考える学習はありますが、考えるための工夫は示されていないように思いました。

以上です。

本多教育長 ありがとうございます。文章構成という視点でさらに御意見をいただきました。

ほか、いかがでしょうか。その他の視点でも構いませんので、よろしくをお願いします。

本田委員。

本田委員 江東区の特色でもある俳句教育について教科書を見比べてみました。国語スタンダードにも「季節を感じ、俳句に親しみます」という項目があります。各社ともに3年生に俳句を親しむ学習があり、松尾芭蕉の句も紹介されています。

教育出版には「俳句に親しむ」の学習ページの後に「きせつの言葉を集めよう」という学習ページがあり、芭蕉の「古池や」という句も紹介されています。そこが特色があるなと思いました。

本多教育長 ありがとうございます。俳句は本区が力を入れてやっているところですので、各委員も学校に行かれたときに俳句の授業を見られたことが多いかなと思いますが、今、その工夫について触れていただいたところがありますけれども、俳句のことで、何かありますでしょうか。

浅野委員。

浅野委員 どの教科書にも俳句がたくさん載っていて、いいですね。本区では俳句教育を大切にしていますから、俳句教育の視点は、教科書を選ぶにはとても重要だと思います。

本多教育長 ありがとうございます。浅野委員からも俳句は重要だろうということで、今、一つの視点として、さらに御意見をいただいたところです。

ほかにいかがでしょうか。

安部委員。

安部委員 私も重要だと思っています。私は俳句づくりのページを見ていまして、東京書籍は6年生、教育出版、光村図書出版は5年生に俳句づくりの学習がありました。

教育出版は俳句と短歌をつくる学習となっており、特に俳句だけに特化した学習ではなさそうでした。

光村図書出版は、表現の工夫の例が具体的で分かりやすく示されていると感じました。

江東区のこどもたちは低学年から俳句づくりを行っていますので、俳句づくりにはなれ親しんでいるということで、ただ俳句をつくるだけではなく、表現の工夫について学べる光村図書出版がいいなと思いました。

以上です。

本多教育長 ありがとうございます。
ほかにいかがでしょうか。

鈴木委員。

鈴木委員 光村図書出版には「季節の言葉」というページがあります。四季折々の季節を感じる言葉が書かれていて、よいと思います。私も光村図書出版がよいと思いました。

以上です。

本多教育長 ありがとうございます。今、俳句の視点でも幾つか御意見をいただいたところですが、俳句の授業を進めるときに季語をたくさん紹介したりしながら授業を進めていくこととなります。そういった部分では、今、鈴木委員がおっしゃられた光村の「季節の言葉」、この辺のところの工夫というのはあるかなと思います。ありがとうございます。

その他、いかがでしょうか。国語はよろしいでしょうか。

皆さんから様々な御意見をいただいたところですが、少し私のほうで整理をさせていただきたいと思います。

まず、児童の主体的な学びを促しやすいこと、それから、こどもたちにとって学びやすい教科書であること、そして、俳句教育との関連を図りやすいことなどの理由により、皆さんの御意見を聞きながら、光村図書出版を採択したいと思っておりますけれども、御異議ございますでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

本多教育長 それでは、御異議ございませんので、国語については光村図書出版を採択することといたします。

それでは続いて、書写について審議いたしますので、委員の皆様におかれましては、書写の教科書の御準備をよろしくお願いいたします。

それでは、事務局より説明願います。

指導室長。

飯塚指導室長 書写の学習については国語科の指導時間の中で行われており、硬筆の指導は全学年、毛筆の指導は3年生以上で行うこととなっております。毛筆の指導については、各学年、年間で30時間程度実施することとなっております。

また、書写の学習においては、「文字を正しく整えて書くことができるようにするとともに、書写の能力を学習や生活に役立てる態度を育てるよう配慮すること」となっております。

なお、採択資料作成委員会で話題となった主なポイントは、書写の基礎・基本について、運筆と姿勢について、資料の使いやすさについて、SDGsとの関連についてが出されました。

以上でございます。

本多教育長 それでは、書写について御審議いただきたいと思っております。御意見のある委員の方、よろしくお願いいたします。

本田委員、お願いします。

本田委員 3年生からの指導ということでしたので、3年生の教科書を見比べてみました。3社とも、初めは毛筆の学習の基本的なことについて書かれています。

例えば東京書籍は見開きページで用具の準備と片づけ、置き方などが示されています。教育出版も用具の置き方や使い方が見開きページで大きく掲載されているのが見やすいです。そして、光村図書出版も見開きページで用具の置き方が掲載されています。光村図書出版は「毛筆スタートブック」というページで12ページにわたって基本的なことが書かれているので、非常に丁寧で、3社の中では最もページ数が多く割かれているなど感じました。

本多教育長 ありがとうございます。3年生から毛筆が始まるという部分での視点の御意見をいただきました。

ほか、いかがでしょうか。

浅野委員。

浅野委員 私も3年生の教科書を見ています。鉛筆と筆の持ち方には違いがあります。だから、その違いを勉強する必要があるわけですが、東京書籍は鉛筆で書いている姿の写真と毛筆で書いている写真が並んでいて、違いが分かりやすいです。光村図書出版も毛筆で書いている姿の写真が並んでいます。教育出版は手先の鉛筆の写真を並べています。

書いている姿の写真を見比べたほうが鉛筆と筆の持ち方だけでなく、姿勢の違いが学べてよいと思いました。

本多教育長 ありがとうございます。各社工夫しているところですよ。1本がけで持つか、2本がけで持つか、両方、丁寧に工夫してあって。

私もこどものときに習字を先に習って、鉛筆の持ち方より先に筆の持ち方を勉強してしまいました。2本がけで筆を持っていたものですから、鉛筆がなかなか2本がけから直らなかったというところはありますけれども、両方をうまく説明してありますよね。ありがとうございます。

ほか、いかがでしょうか。

安部委員。

安部委員 筆で文字を書くというのはとても難しいなと思っています。どうしたら上手に書けるようになるんだろうと思いながら教科書を見ると、各社とも「トン」とか「スー」とか、イメージしやすい音やキャラクターを用いて筆遣いのポイントを感覚的に理解できる工夫をしています。

特に教育出版や光村図書出版はキャラクターの動きも合わせて書いてあります。より感覚的に理解できるようにしていると思います。

光村図書出版は穂先の動きまで、穂先のキャラクターで分かりやすく示しています。こうした工夫のある教科書は、子どもにとっては学びやすいのではないかなと感じました。

以上です。

本多教育長 ありがとうございます。
 ほか、いかがでしょうか。
 鈴木委員。

鈴木委員 各社とも教科書の二次元コードを読み取ると、書き方を動画で見ることができるようになっています。この動画を見たのですが、書き方が分かりやすくていいと思いました。特に東京書籍や光村図書出版は「トン」とか「スー」とかという音に合わせてお手本を書いているので、よりイメージを持ちやすいなと感じました。

本多教育長 私も動画を見たんですけども、言葉で言うより、やっぱり目で見るのがすごく分かりやすいですね。動画をどこも工夫して入れているなと思いました。ありがとうございます。
 ほか、いかがでしょうか。本田委員。

本田委員 子どもたちが学びやすいという視点で改めて見てみますと、例えば4年生に「左右」という文字を書く部分があります。東京書籍と光村図書出版は、ここでの学習のポイントとなる部分を色分けしているのが非常に見やすいなと感じました。
 特に光村図書出版の文字は色分けがよりはっきりしているなと感じたので、より一層見やすいと感じます。
 以上です。

本多教育長 ありがとうございます。「左右」という字ですけども、これは書き順もそうですし、筆の入れ方とか、はらいとか、非常にそれが分かる教材ですね。
 ほか、いかがでしょうか。
 浅野委員。

浅野委員 私も同じページを開いてみたのですが、東京書籍は「書写のかぎ」、教育出版は「ここが大切」、光村図書出版は「たいせつ」として、文字を書くためのポイントが示されています。どこに気をつけて書けばよいかポイントが示されているので、どの教科書も基本を学びやすいのではないのでしょうか。

本多教育長 ありがとうございます。今のは、最後に確かに書いてありますよね。「たいせつ」とか「書写のかぎ」とか、そういったところが、子どもが学習しながら、自分でもそこを見ながら学習ができる工夫かなと思います。

ほか、いかがでしょうか。

安部委員。

安部委員 基本を学ぶということで考えますと、東京書籍の「書写のかぎ」は、よく見ると資料ページにまとめられているようです。これまでに学習した内容が全てまとめられているので、復習がしやすいのではないかなと感じました。

また、光村図書出版は、各学年のまとめの学習として「『たいせつ』のまとめ」というページがあります。1年間の学習を振り返ることができるので、こちらも復習がしやすいのではないかなと感じました。

以上です。

本多教育長 ありがとうございます。それぞれの工夫点について、今御指摘いただきました。

ほか、いかがでしょうか。

鈴木委員。

鈴木委員 書写の学習は、他の学習や生活にも役立つだろうと思うんです。その視点で教科書を見ていたんですけれども、4年生には、各社ともノート書き方を学習するページがあります。

教育出版は、横書きノートの書き方について「書き方のひみつ」として、見やすくノートをまとめるポイントを示しています。

また、光村図書出版はノートのまとめ方のポイントが分かりやすく示されているだけでなく、文字の大きさのバランスなど、正しく整えて書くためのポイントも分かりやすく示されているので、他の学習にも役立つなと思いました。

ノートは他の学習で毎日書いているわけですから、他の学習や生活に役立てるという意味では、ノートのまとめ方のポイントが分かりやすく示されているのはとてもよいことだと思います。

以上です。

本多教育長 ありがとうございます。他教科との関連も図りやすい工夫となっているかなと思います。

ほか、いかがでしょうか。

本田委員。

本田委員 私も、書写の学習はほかの学習や生活に役立ててこそ意味があると思っています。そういう点では、光村図書出版は6年に「書写ブック」というページがありまして、1年生から6年生までに学習してきたことをほかの学習や生活に役立てられるようにしてあります。手紙の書き方や

はがきの書き方などもまとめて書かれているので、この「書写ブック」は非常によい工夫だなと感じました。

ここを見れば、6年間の学習を振り返って日常生活に生かしていけるので、児童にとっても学びやすく、永久保存版になるのではないかなと感じます。

本多教育長 ありがとうございます。この書写ブックのことですね。私も見ましたけれども、確かに今、本田委員がおっしゃったように、他教科にも生かせるとか、実際の生活している部分ではがきの書き方なんかもあって、生かせるといいのかなと思います。

ほか、いかがでしょうか。

安部委員。

安部委員 書写の学習とは少しそれるかもしれないのですが、光村図書出版には4年生にSDGsブックというページがありました。書写の学習を通してSDGsについて考えるという発想はとてもすばらしいと思います。

こうした補助的な資料が充実しているという点でも、光村図書出版の教科書は一番使いやすいのではないかなと感じました。

以上です。

本多教育長 ありがとうございます。様々な視点から御意見をいただきましたけれども、ほかはいかがでしょう。よろしいでしょうか。

それでは、皆様からいただいた御意見を整理いたしますと、基礎基本の指導がしやすいこと、また、こどもたちにとって学びやすい教科書であること、それから、学ぶことを他の学習や生活に役立たせる工夫があることなどの理由によりまして、光村図書出版を採択したいと思いますが、御異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

本多教育長 御異議ございませんので、書写につきましては光村図書出版を採択することといたします。

続いて、算数について審議いたしますので、委員の皆様は机上に算数の教科書を御準備いただければと思います。

よろしいでしょうか。

それでは、事務局より説明願います。

飯塚指導室長 算数科においては、数量や図形及び日常の事象について数学的な見方、考え方を働かせ、数学的活動を通して「数と計算」、「図形」、「測定」、「変化と関係」、「データの活用」における数学的に考える資質・能力を育成することを目指しております。

なお、採択資料作成委員会で話題となった主なポイントは、教科書の体裁について、算数スタンダードについて、主体的・対話的で深い学びについて、児童の使いやすさについて、教員の指導のしやすさについて。以上です。

本多教育長 それでは、算数について御審議いただきたいと思います。
鈴木委員。

鈴木委員 私は教科書の冊数を見ていたんですけれども、6年生は各社ともに1冊です。大日本図書だけは1年生の教科書以外は全て1冊となっているようです。

それに対して、東京書籍、学校図書、日本文教出版は、6年生以外は分冊となっています。こどもたちの持ち運びのことを考えると、学年で分冊になっているほうが多少は軽くなるのではないかなと思います。

本多教育長 ありがとうございます。今、分冊の件について出ましたけれども、各社それぞれ特徴があって、分冊にしているところとそうでないところ、今委員から御意見があったとおりにかなと思います。今はこどもたちの持ち物も話題に上がっているところですから、一つの視点になるかなと思います。

ほかにいかがでしょうか。

浅野委員。

浅野委員 教科書の大きさですが、東京書籍、大日本図書、啓林館は1年生の最初の教科書だけ薄くて大きい冊子となっています。大きい冊子の分、図や文字も大きくなっています。小学校に入学したばかりのこどもたちが使うことを考えると、大きいほうがいいと思います。

本多教育長 ありがとうございます。今御指摘いただいた入学期の1年生に対しての配慮がされている出版社が何社かあるというところでしたけれども、確かに接続の部分であったり、こどもたちの導入の部分において、こういう工夫というの必要かもしれませんね。

ほか、いかがでしょうか。

安部委員。

安部委員 算数は苦手意識を持つこどもがいると思いますので、こどもたちが苦手意識を持たずに興味を持って学べる教科書がいいと思っています。

そこで、教科書を見てみますと、学校図書には「考え方モンスター」というキャラクターが出てきて、考え方のポイントが分かりやすく紹介されていると思いました。こどもたちにとっては、興味を持って学べる

のではないのでしょうか。

以上です。

本多教育長 ありがとうございます。キャラクターの工夫というところでのお話だったかなと思いますけれども、かなり大胆な工夫ですよ。 「考え方モンスター」という。

安部委員 そうですよ。キャラクターの名前も面白いんですよ。「ナーゼ」とか。

本多教育長 「ベツアラワシ」とかですね。別の表現の仕方をするモンスター。こんな工夫されて、考えて出されたのかなと思います。

ほか、いかがでしょうか。

本田委員。

本田委員 今の考え方のポイントということ言えば、大日本図書にも「算数の大切な考え方」というページがあって、考え方のポイントが分かりやすく紹介されています。ここでは「ひらめきアイテム」という言い方もこどもの興味を引くことができるのかなと思います。

そして、東京書籍も「ますりん」というキャラクターが学習のポイントなどを説明していて、どちらも親しみを持って学習できそうな気がしました。

以上です。

本多教育長 ありがとうございます。主体的な学びとか様々言われている中でも、子どもたちが教科書を使って自分で学習していくことも一つ大事な視点ではありますね。そういった部分でのいろいろな工夫について、今、幾つか御意見をいただいたところかなと思います。

ほか、いかがでしょうか。

鈴木委員。

鈴木委員 私は、子どもたちに自分から学びたいと思わせるには学習の導入が重要なかなと思っています。例えば3年生の教科書に大きい数という学習があります。大きい数のイメージが湧くようにスポーツイベントを例に挙げるなど、各社とも具体的なものを使って工夫しています。

また、東京書籍、大日本図書、日本文教出版は、まず、数の読み方についての復習をしてから学習に入っています。

その中で、東京書籍は、全校児童の数や図書館の本の数など、身近なものを例にして復習しています。身近なものから学習に入ると、自ら学ぼうという意欲が起きるのではないかなと思いました。

以上です。

本多教育長 ありがとうございます。今、導入というところでありましたけれども、ほか、いかがでしょうか。

本田委員。

本田委員 学習の導入の話題ですけれども、東京書籍は、学習のはじめのページにオープニングムービーというのがあります。これは、二次元コードを読み取ることで見ることができるものなんですけれども、映像で具体的なものを見せたり作業したりしながら、これから学習することについて考えられるような仕組みになっていました。

実際に映像を見ながら考えると、これから学習することのイメージが非常に持ちやすいのではないかなと感じました。それこそ、さあ、やろう、学ぼうと思わせる一工夫があると感じました。

以上です。

本多教育長 ありがとうございます。導入って非常に重要でして、授業をするときに、私もいつも必ず導入に、こどもたちに何を出会わせてあげるかというのはすごく考えるところで、導入がうまくいくと本当に授業がうまく流れるんですね。こどもがしっかり課題を掴んでくれるというのがあるので、そういった工夫という部分では大事な視点かなと思いますね。

ほか、いかがでしょうか。

浅野委員。

浅野委員 私も同じ「大きい数」の学習のページを見えています。大日本図書、学校図書、啓林館、日本文教出版は、「学習のめあて」が示されています。目当てがはっきりしていると、どのようなことを考えればよいか分かります。東京書籍は、はてなマークで目当てを表しているようです。

本多教育長 ありがとうございます。目当てという話がありました。各社、表示を工夫しているということですかね。

いかがでしょうか。

安部委員。

安部委員 目当ても、もちろん大切だと思っています。私は、学習のまとめ方も大切だと思っています。今、6年生の分数の掛け算の学習ページを見ました。

学校図書には、まとめにも「考え方モンスター」が出てきて、図などを使って算数の考え方についてまとめています。東京書籍にも、「つないでいこう 算数の目」というまとめのページがあり、考え方を説明す

るようにして算数の考え方についてまとめる学習がありました。東京書籍には、「次に考えてみたいことはどんなこと？」と、学んだことをどうやって生かしていくか自分で考えさせるようにしています。自分から学ぼうという気持ちを持たせるという点では、すごくいい工夫だなと感じています。

以上です。

本多教育長 ありがとうございます。先ほど、目当ての視点という話があって、今度はまとめの視点のところのお話がありました。まとめ方についての、学校図書や東京書籍の工夫の話でした。特に、次に考えてみたいことってつなげていく、そういった視点は確かに大事ですし、子どもたちはそれぞれやっぱり差もあるところがあるので、発展的な部分をどう取り入れていくかという視点は大事かなと思いますね。

ほか、いかがでしょうか。

鈴木委員。

鈴木委員 算数は習熟度別の授業をしております。習熟度別ですので、基礎的な学習も大切ですが、習熟度の高いこどものために発展的な学習もできる教科書がいいと思います。

各社とも補充問題は載っているのですが、東京書籍には、「おもしろもんだいにチャレンジ」という工夫して考える問題があります。多く問題を解くだけでなく、発展的に考えられる問題があるのはいいと思います。

以上です。

本多教育長 まさに、先ほど私が言った視点につなげて鈴木委員が発言してくださいましたが、習熟度別に学習していく中で、補充問題として発展的な問題とか、そういったところをうまく取り入れていく。各社ともにそういった工夫はしているのかなと思いますけれども、ポイントとして、今挙げられたかなと思います。ありがとうございます。

ほか、いかがでしょうか。

安部委員。

安部委員 発展的な学習とは少し違うんですけども、東京書籍は4年生以上の教科書の初めのページに野球の大谷翔平選手や卓球の伊藤美誠選手、宇宙飛行士の野口聡一さんの言葉が書かれていたりします。これはすごくいいなと思いました。

算数は苦手だなと思っているこどもや、何のために算数を学んだらうと思っているこどもも、これを読むと算数を頑張ってみようかなと思えるのではないかなと思いました。

以上です。

本多教育長 ありがとうございます。確かに最初のところのページに大谷選手とか、アスリートの話が入っていたりしていますね。今日も大谷選手は42号ホームランを打ったそうです。

そういった報道がされている中で、子どもたちも身近に感じる方こういった話が入っているというのは、一つのポイントとしてはあるのかもしれないですね。

ほか、いかがでしょうか。

本田委員。

本田委員 いろいろな御意見を伺って見ても、発展的な学習ができる、子どもたちが学びやすい、そしてまた、学びたいと思わせる工夫がある東京書籍の教科書が私は非常に魅力的だと感じました。

本多教育長 ありがとうございます。様々な御意見をいただいてきたところではありますが、ほか、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、皆様の御意見を整理いたしますと、子どもたちにとって学びやすい教科書であること、それから、見通しだったりまとめだったり、様々な意見がありましたが、主体的に学ぶ工夫があること、それから、発展的な課題が充実していることなどの理由により、東京書籍を採択したいと思います。御異議ございますでしょうか。よろしいでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

本多教育長 それでは、御異議ございませんので、算数については東京書籍を採択することといたします。

では続いて、生活科について審議いたしますので、委員の皆様は教科書の準備をよろしくお願いします。

よろしいでしょうか。

それでは、事務局より説明願います。

指導室長。

飯塚指導室長 生活科においては、具体的な活動や体験を通して、身近な生活に関わる見方・考え方を生かし、自立し生活を豊かにしていくための資質・能力を育成することを目指しています。

なお、採択資料作成委員会で話題となった主なポイントは、就学前教育とのつながりについて、教材の配列について、児童の使いやすさについて、体験的な学習との関連について、教員の指導のしやすさについて。

以上です。

本 多 教 育 長 それでは、生活科について御審議いただきたいと思います。御意見のある委員の方は、よろしくをお願いします。

本田委員。

本 田 委 員 この生活科というのは、1年生、2年生で学習する教科ということで、小学校に入学する前に様々な遊びを通して子どもたちが学んできたことを小学校に滑らかに接続する要となる教科だと思っております。

ですから、各社とも大きな写真ですとかイラストがたくさんあって、子どもたちがこれからの学校生活に対する意欲が高められる、そんな工夫がしてあるなと感じました。

以上です。

本 多 教 育 長 ありがとうございます。今、就学前教育の話もありましたけれども、いかがでしょうか。

鈴木委員。

鈴 木 委 員 小学校への接続という点において、各社の教科書の上巻、冒頭を見てみると、東京書籍、大日本図書、学校図書は、小学校生活について見通しが持てるように小学校での具体的な場면을写真やイラストとともに掲載しています。

光村図書出版は、折り込みページいっぱいのイラストを掲載しています。

啓林館は、小学校入学前の様子について紹介するページから始まって、その後に小学校の生活についても紹介しています。

教育出版は、ページの上部に小学校の生活の様子を、ページの下部には幼稚園や保育園の様子を掲載されており、活動のつながりが分かりやすいように感じました。各社とも写真、イラストを豊富に掲載して、子どもたちが興味を持てるように工夫をされている教科書だと思います。

以上です。

本 多 教 育 長 ありがとうございます。今、文科省のほうでも様々な接続のことについて言われているのですが、江東区は以前より幼稚園、保育園を含めて連携教育を進めてきているのですけれども、そういった中で各小学校はスタートカリキュラムとって接続の部分、子どもたちが滑らかに学校教育に入れるようにという工夫をしているところですが、生活科は、様々な部分では、大事なそういったつながりのところでは、各社、かなり接続のところを工夫しているところがあるかなと思います。ありがとうございます。

ほか、いかがでしょうか。

安部委員。

安 部 委 員 私は、子どもたちが主体的に学ぶためには、活動の動機づけ、導入が大切だと考えています。先ほどお話があった写真やイラストは子どもたちの興味・関心を高めたり、活動の見通しを持ったりするためには重要だと思います。

各社とも各単元の導入のページでは特に大きな写真を活用したり、イラストや吹き出しを記載したりするなど、子どもたちが学習したいと思えるような工夫が感じられています。

教育出版は、それぞれの単元の初めに「わくわくスイッチ」として、自分の経験を思い出せるような内容を記載してあり、子どもたちは自分なりの目標を持って活動に取り組めると思います。

大日本図書の「ビンゴカード」も楽しんで学べると思いました。

また、教科書の大きさを見てみると、東京書籍、大日本図書、教育出版、光村図書出版はA4判なので紙面が大きくて見やすいと思いました。以上です。

本 多 教 育 長 ありがとうございます。
ほか、いかがでしょうか。
浅野委員。

浅 野 委 員 私は、生活科の学習では、子どもたちの思っていることや経験してきていることが学習につながる大切だと思います。子どもたちの思いが膨らんだり、活動のヒントとなったりするような教科書がよいと思います。

各社それぞれ、写真やイラストを多く掲載したり、こどもの言葉で吹き出しをつけたり、工夫していると感じました。特に啓林館、教育出版は、ページの端に「ヒント」や「学びのヒント」のコーナーがあって、子どもが観察などの方法をいろいろ試してみることにつながるのではないかと思います。

本 多 教 育 長 ありがとうございます。思いや経験ということです。
いかがでしょうか。
本田委員。

本 田 委 員 子どもたちの思いを大切にするという視点から考えますと、ほかの教科もそうなんですけど、活動に対する子どもたち自身の振り返りというのがやはり大事だなと思います。

大日本図書は、上巻に「きもちマーク」というものがあって、児童が学習を通して感じた思いや考えを書き込むことができるように工夫されています。

光村図書出版は、「ふりかえろう」、「こんなことはあったかな」として、こどもに問いかけるように書かれていました。学習したことを振り返る際に言葉にしやすいように配慮されているなど感じます。

そして、教育出版は「つたえたいな」というコーナーがあって、学んだことをおうちの人などに伝えるような働きかけがあります。学校で学んだことをお宅でお話をしてもらえるのは保護者としても嬉しいことでしょうし、おうちの方とお話をする中で学びが深まることもあるのではないかなと感じました。

以上です。

本多教育長 ありがとうございます。今、各委員から、思いや経験を大切にするという話がありましたけれども、生活科の学習はすごくそこが大事で、生活科が始まったときに、なかなかそういったことがうまくできない先生方もいて、教科書の何ページに書いてあるからやりましょうみたいな授業をされる方もいたんですが、今はもうほとんどそういった先生方がいなくなってきて、こどもたちの経験、どういったことをしてきたかなと振り返らせる中で、そこからうまくつなげていくような授業をしています。

そういった部分では、こどもの思いや経験を大切にする視点というのはとても大事なのかなと思います。

ほか、いかがでしょうか。

安部委員。

安部委員 私は、こどもたちの思いを大切にするのはもちろんですが、先生たちにとっても使いやすい教科書であることも大切だと思っています。先生たちが使いやすいという点では、学習の流れや活動の狙いが分かりやすいことが大切ではないでしょうか。

啓林館は、どの単元でも「わくわく」、「いきいき」、「ぐんぐん」の3段階の学習の進め方をページの左側に示しているのも、学習の流れが分かりやすいと思いました。

以上です。

本多教育長 ありがとうございます。
ほか、いかがでしょうか。
鈴木委員。

鈴木委員 先生たちの使いやすさという点では、東京書籍は活動の目当てとともにビックリマーク、クエスチョンマーク、ハートマークで示されています。こどもたちの活動と先生方の評価の視点が一体化されていて分かりやすいと思いました。

教育出版は、「きづく」、「かんがえる」、「つたえる」などの生活科の学習目標についてサイコロのイラストで示されています。

また、「まなびのぼけっと」として関連する他の教科の学習についても掲載されていて、生活科ならではのとても大切なページだと思いました。子どもたちだけでなく、先生にとっても分かりやすく、授業に生かしやすいと感じました。

以上です。

本多教育長 ありがとうございます。確かに教育出版、今、鈴木委員からあった工夫の面でよくできているかなと思います。

ほかにいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、各委員からの御意見を整理いたしまして、まずは、子どもたちの学習意欲を高める資料等が豊富にあること、それから、子どもたちが主体的に学べる工夫があり、身につける力が明確になっていること、教員が授業を展開する上で活用しやすいことなどの理由により、教育出版を採択したいと思いますが、御異議ございますでしょうか。よろしいでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

本多教育長 御異議ございませんので、生活科については教育出版を採択することといたします。

続いて、音楽について審議をいたしますので、各委員におかれましては、教科書の準備をよろしくお願いいたします。

それでは、事務局より説明願います。

指導室長。

飯塚指導室長 音楽科においては、表現及び鑑賞の活動を通して音楽的な見方、考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽と豊かに関わる資質・能力を育成することを目指しております。

なお、採択資料作成委員会で話題となった主なポイントは、児童の使いやすさについて、教員の指導のしやすさについて、写真等の資料について、共通教材の扱いについて。

以上でございます。

本多教育長 それでは、音楽について御審議いただきたいと思います。

御意見のある方はよろしくお願いいたします。

本田委員。

本田委員 まず、1年生の最初の箇所を見比べてみました。教育出版の4ページを見ているのですが、「どんな歌があるかな」として、イラストから連

想する歌を友達に教える活動から学習が始まるようです。イラストからは、「こいのぼり」とか「めだかの学校」、「かえるの合唱」が連想できます。

教育芸術社の8ページでは、「うたってなかよくなろう」というふうにして、同じようにイラストから連想できる歌をみんなで歌う活動をしています。

2つとも、幼稚園や保育園を思い出してスムーズに音楽の学習に入っていけるような楽しいものになっているなど感じます。

以上です。

本多教育長 ありがとうございます。

幼稚園、保育園で、こどもたちは本当に様々な歌を歌ったりしているところがあるので、そういったこどもたちが幼稚園で身につけてきた自信であったり、音楽に対する興味関心であったり、それ知っているよというところがつながっていくという部分では上手な導入の仕方ですし、そういった形で進めていくことは非常に大事ですよ。ありがとうございます。

ほか、いかがでしょうか。

鈴木委員。

鈴木委員 私も、同じ1年生の鍵盤ハーモニカの学習のページを見比べたんです。教育出版は、「ためしてみよう」として、まず吹いてみる活動から入っています。こどもたちの意欲を喚起させる工夫がされているなど感じました。

また、次のページ以降は、大きな鍵盤ハーモニカの写真があり、自分の指を教科書に当てて練習できるようになっているのもいいなと思いました。

教育芸術社は、まず、ホースだけを使って、いろんな息の強さで吹いてみる活動から入っています。次のページでは、「かまえかた」として吹く姿勢や持ち方にも触れられております。教育出版よりもページ数も多くて、丁寧に段階を踏んで学習することができそうなので、教育芸術社のほうがいいかなと思いました。

以上です。

本多教育長 ありがとうございます。

こどもたちは就学前で幼稚園や保育園、様々な工夫がある幼稚園もあるので、そういった部分では、既に鍵盤ハーモニカをやっている子もいるし、やっていない子もいるので、そういったところで丁寧に導入されているというのはとても大事なポイントかなと思いますね。ありがとうございます。

ほか、いかがでしょうか。

浅野委員。

浅野委員 私は、3年生のリコーダーの学習のページを見ています。両社とも、教科書の端に大きくリコーダーのイラストが示されていて、押さえる指の位置が分かりやすく示されています。特に教育芸術社は、座って演奏するときの姿勢のポイントや、どこの穴をどこの指で押さえるかを図で示している点が、子どもたちにとって一つ一つ確認しながら学ぶことができると思い、いいなと思いました。

本多教育長 ありがとうございます。

リコーダーの視点で御意見がありました。先ほどの書写、毛筆が3年生から、音楽もリコーダーは3年生からということで、大事な視点かなと思います。ありがとうございます。

ほか、いかがでしょうか。

安部委員。

安部委員 音楽の学習でも、子どもたちはタブレット端末を活用して学習していると聞いています。これから大いに活用してもらいたいと思っています。その視点から両社を見比べてみますと、特に教育芸術社は二次元バーコードの場所がページの見開きの右上にありまして、統一されています。また、教育出版より数もかなり多いようです。子どもたちにとって使いやすいのではないかなと思いました。

以上です。

本多教育長 ありがとうございます。

タブレットを使ってというのは、確かにほかのところでも出てきましたが、二次元コードを子どもたちが読み取ってという意味では動画を見たりとか、発展的に学習することは大事な視点ですね。ありがとうございます。

ほか、いかがでしょうか。

浅野委員。

浅野委員 4年生に掲載されている「音楽づくり」の学習に着目してみました。教育出版の4年生、26・27ページを見ていますが、音の高さや低さを具体的に矢印で直接書き込める形になっていて、教員が指導する際には扱いやすいのではないのでしょうか。

教育芸術社の4年生、63ページを見ると、自分の旋律をつくった後に3人組で話し合う様子が描かれています。「つくる」「考える」「見つける」の視点で何をすることが明確に示されています。こういった点も

教員が指導しやすいと思いました。

以上です。

本 多 教 育 長 ありがとうございます。

今、児童の使いやすさという視点だったり、教員の指導のしやすさに御意見があったかと思えますけれども、若い先生方も増えてきているところもありますし、音楽って専科の先生がすることも多いんですが、担任の先生が指導することもあるという部分では、確かに先生方の指導のしやすさというのはとても大事ですし、こどもたちが主体的に学ぶという部分では、教科書を見たときに何をどうしたらいいのかというのがこどもたちにとっても分かりやすいところは、とても大事な視点かなと思います。

今、各教科書を各委員の皆さんに見ていただいているところですが、音楽科は学習指導要領で共通教材というのが決められていて、各学年にそれぞれ位置づけられているんですけども、それぞれの教科書会社も、当然それは中に取り入れています。

具体的には、我が国で親しまれてきた唱歌であったり童謡であったり、中には、最近こどもたちがあまり触れることのないものでもとてもいいものがあるので、音楽の授業で触れさせたいというものが位置づけられたりするわけです。

例えば、1年生では「うみ」とか「かたつむり」とか、2年生は「夕やけこやけ」とか「かくれんぼ」、そういったものがありますけれども、各社の共通教材、いろいろ見ていただいていますけれども、何か各委員、共通教材について御意見ありますでしょうか。

本田委員。

本 田 委 員 2年生の「夕やけこやけ」のページを見比べてみました。教育出版の40ページと41ページは、曲の1番と2番を同じイメージとして、1枚の写真で大きく使用されています。非常に大きな写真なので、色もきれいですし、すごく雄大なイメージというのがしっかりと伝わってくると思います。

一方、教育芸術社では、54・55ページで、曲の1番と2番の歌詞の違い、イメージの違いを出すために2つのイラストを使っていました。この歌詞の違いを意識して歌うということを考えると、こちらのほうがじっくり来る、分かりやすいなと感じました。

以上です。

本 多 教 育 長 ありがとうございます。「夕やけこやけ」の共通教材の話がありましたけれども、ほか、いかがでしょうか。

鈴木委員。

鈴木委員 同じ「夕やけこやけ」を私も見ていますけれども、教育出版では、この「夕やけこやけ」は独立した教材として扱っているようで、単元の前後との関連はないです。

これに対して、教育芸術社は、「ようすをおもいうかべよう」という1つの単元の中の学習として扱っています。様子を思い浮かべながら、「聞く」「歌う」「ふく」という単元の流れの中で、「歌う」ところで「夕やけこやけ」を扱っています。「夕やけこやけ」だけに限らず、多くの共通教材においても、教育芸術社のほうが単元の流れを意識して系統的に学習を図ることができて、本区の子どもたちにとっては教育芸術社のほうがよい教科書ではないかなというふうに思います。

以上です。

本多教育長 ありがとうございます。今、共通教材のことから御意見をいただいて、私もこの「夕やけこやけ」のところはすごく印象的だったなと思っていて、教育出版もきれいな写真で夕焼けのところを見開きで入れている。だけど、教育芸術社のほうは1番と2番が両方分かるように、イラストを工夫して両方入れているという部分の違い、そういう特徴があるんですけれども、今、各委員からあったように、これは非常に大事なポイントなのかなと思います。

ありがとうございます。

ほか、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、各委員からの意見を整理いたしますと、まずは、保育園、幼稚園との接続がスムーズに図れること、そして子どもたちが主体的に学習するための工夫があること、また、教材間の関連が図られていて、系統的な学習ができることなどの理由により、教育芸術社を採択したいと思いますが、御異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

本多教育長 御異議ございませんので、音楽については教育芸術社を採択することといたします。

それでは、続いて図画工作について審議いたしますので、教育委員の皆様におかれましては教科書の準備をよろしくお願いいたします。

それでは、事務局より説明願います。

指導室長。

飯塚指導室長 図画工作科においては、「表現及び鑑賞の活動を通して造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の形や色などと豊かに関わる資質・能力を育成すること」を目指しております。「表現」においては造形遊びや絵や立体、工作などの造形活動、「鑑賞」においては、自分た

ちの作品や親しみのある美術などを対象として鑑賞活動をすることを示しております。

なお、採択資料作成委員会で話題となった主なポイントは、鑑賞の題材等について、安全面の配慮について、写真等の資料について、学校外での学びを促す資料について、以上でございます。

本多教育長 それでは、図画工作について御審議いただきたいと思います。
御意見のある方はよろしくお願いたします。いかがでしょうか。
安部委員。

安部委員 1・2年上巻の巻頭ページを見ていますと、どちらの会社も、2・3ページに就学前の表現の様子が写真で思い出せるようになっているのがいいなと思いました。特に、日本文教出版では、次の4ページから17ページにわたって、大きな写真とともに図画工作で学習していく内容が紹介されていますので、1年生にとって図画工作という学習が楽しみになるような工夫がされていると感じました。
以上です。

本多教育長 ありがとうございます。先ほど、生活科のところだったり、音楽のところだったりでも出てきたので、やはり1年生の最初の導入のところという部分での視点から安部委員からの御意見をいただいたと思います。
各社ともに、就学前、保育園、幼稚園でやってきた様子を振り返られるような写真が入っていて工夫がされていますよね。わざわざ幼稚園の先生と一緒に絵描きをやっているところとか、こどもたちとしては振り返りやすい、また、先に対する見通しも持ちやすいところがあるかもしれないですね。
ありがとうございます。
ほか、いかがでしょうか。
浅野委員。

浅野委員 私は、両社の1・2年下巻の目次を見ていますが、日本文教出版には、題材ごとに「造形あそび」や「絵」などの5つの活動マークがついているので、指導される先生方にとっても分かりやすいと思います。「ずこうたいそう」というコーナーがあるのも、感性が豊かになりそうでいいと思いました。

本多教育長 ありがとうございます。
「ずこうたいそう」、面白いものを浅野委員からお話いただきました。確かに最初のページのところ、各社ともに見通しが持てるような工夫がされているかなと思います。

ほか、いかがでしょうか。

本田委員。

本田委員 私も同じ日本文教出版の目次の隣の3ページ、4ページを見ていますけれども、教科書の使い方とか学習の進め方の説明があるので、どんなふうに学習を進めていくのか、子どもたちにとって非常に理解しやすいと思います。

一方、開隆堂出版の目次の6・7ページ、こちらには、題材ごとに写真が掲載されています。題材名だけでは分からない内容も、この写真によって非常にイメージがつきやすく、1年間の見通しも持ちやすいだろうなというふうに感じました。ですので、どちらかというとな開隆堂出版のほうがいいのかと感じています。

以上です。

本多教育長 ありがとうございます。

学習の進め方であったり、見通しであったりですけども、確かに各社、それぞれ目次の作り方という部分での工夫があるのかなと思います。今御指摘いただいた開隆堂のあたりも、子どもたちの表情も写っていて、それもなかなかいいかなと思いますね。ありがとうございます。

ほか、いかがでしょうか。

浅野委員。

浅野委員 図工では、様々な材料と用具を使って活動を進めていると思います。用具の使い方が分かりやすく掲載されているので、いいと思います。その点では、両社とも巻末ページや二次元コードからの動画を中心に詳しく説明されていると思います。

子どもたちが自分で確認し、理解できるようになっていますし、先生方にとっても教えやすいと思いました。

本多教育長 ありがとうございます。

今御指摘いただいた、子どもたちの道具とか材料の使い方という部分は非常に大事ですよ。初めて出会う道具も材料もあります。そういった部分では、今浅野委員からも御指摘ありましたけれども、巻末にまとまっていたりとか、二次元コードがあって、そこから動画で見ることができたりとか、そういった工夫も、まさに1人1台端末があるこの時代に必要なというか、生かされる工夫だなと思います。

ほか、いかがでしょうか。

安部委員。

安部委員 私はのこぎりを使う題材を見ていますが、日本文教出版の3・4年下

巻、30・31ページには、「のこぎりギコギコ」というのがありまして、作品の写真が大きく掲載されているので、切った木の形など細かな部分を見て、自分の発想を膨らませることができるのではないかと思います。

こどもの活動の写真もズームのカットが多いので、手元がよく分かるのがいいと思いました。

以上です。

本多教育長 ありがとうございます。

我々がこどもの頃ののこぎりを使って遊ぶのなんか当たり前のようによくやっていた感じがあるんですけど、最近はこどもたちがのこぎりを使うのは図工の時間でしか使わないとか、なかなか家庭でのこぎりを使って何か作るというのはあまりなくて、実は若い先生方もそういった経験をされていない先生方もいらっしゃると思うので、安部委員からお話が合った手元が写っているものとか、細かなところが見られる、そういったところも先生方の使いやすさとか指導のしやすさとか、そういった視点としても大事なのところかもしれないですね。ありがとうございます。

ほか、いかがでしょうか。

鈴木委員。

鈴木委員 私も同じのこぎりを使う教材を見ているんですけど、開隆堂出版には、3年・4年上巻の46・47ページの「のこぎりザクザク つないでつけて」のページがあります。左側ののこぎりを使っているこどもの写真は、体をどのように使っているのこぎりを扱うかが一目で分かります。初めてのこぎりを使う学習なので、安全に使うためにもこうした写真があると安心だと思いました。

以上です。

本多教育長 ありがとうございます。

まさに私が言ったことにつなげていただいて、鈴木委員が発言してくださいましたけれども、この開隆堂出版の3・4年上の46ページ、このこどもの足のかけ方、こういった部分はすごく大事で、図工室の椅子というのは、まさにこれに使えるようにできているわけですけども、こういうふうにするんだということが分かりやすく、これも指導のしやすさという部分では大事にしたいかなと思います。ありがとうございます。

ほか、いかがでしょうか。

本田委員。

本田委員 私も今、開隆堂出版の同じページを見えています。ここには4つの作品

の写真がありますけれども、どの作品もバラエティーに富んでいて楽しくなります。

例えば1は、平らな板を使っていたり、2は額縁の形を表現していたり、そして、3は縦に積んでいて、4は横に積んである、そんなふうには、こどもたちは写真からヒントを得て、構想する意欲というものが湧いてくるんじゃないかなというふうに感じました。見て、感じて、作り上げるという意味において、開隆堂出版は非常に工夫されていると感じました。

以上です。

本多教育長 ありがとうございます。

こどもたちの発想を広げるという部分で、先生たちはもっと自由にやっていたいよという思いで授業をしていたりするんですが、こどもたちがこれでいいのかなと思ってなかなか先に進めなかったりとか、1つのものを見ちゃうと、その1つのものにこだわってしまったところがあるので、今、本田委員がおっしゃった様々なものがあるので、いろんなつなげ方があるんだなという刺激にもなるところがあるかなと思います。ありがとうございます。

ほか、いかがでしょうか。

鈴木委員。

鈴木委員 水彩絵の具の使い方についても、両社は丁寧に紹介しています。日本文教出版の3年・4年の上巻の56・57ページと、開隆堂出版の3年・4年、上巻の58・59ページに掲載されています。どちらも、道具の置き方やパレットや筆洗いの使い方などが見やすくなっています。開隆堂出版は筆の持ち方と使い方が分かりやすく紹介されていると同時に、筆や水の量を変えるとどう違うかも見やすく紹介されているので、私は開隆堂出版がいいなと思いました。

以上です。

本多教育長 ありがとうございます。

水彩絵の具ですね。就学前教育で、最近はボディーペインティングとかフィンガーペインティングとかで絵の具を使ったりするところもあるんですけども、こういった道具をしっかりとそろえてやるという部分では、図工で初めてやっていくところもあるかなと思うんですが、そういった部分で今鈴木委員から御指摘があったところ、各社ともに工夫をされているところがあるかなと思うんですけども、今、ポイントとしては、鈴木委員がおっしゃったような違いがあるのかなと思います。ありがとうございます。

絵の具の視点から、今御意見いただきました。いかがでしょうか。

安部委員。

安部委員 同じく絵の具の話なんですが、気づいた点としまして、日本文教出版の3・4年上巻、10・11ページ、「絵のぐ+水+ふで=いいかんじ！」についてなんですが、こどもの手元の写真が大きく掲載されているので、筆の持ち方や運びがよく分かると思います。筆の動きを変えながら、いろいろ試してみたくなる構成だなと思いました。

一方で、開隆堂出版も3・4年上巻の8・9ページに、「絵の具と水のハーモニー」という題材がありますが、学習のめあてや振り返り、キャラクターの吹き出しなどで「水の量をかえる」ということに焦点を当てているので、こどもたちの技能がより高まるといった視点から、本区のこどもたちには開隆堂出版のほうがいいのではないかなと思いました。

本多教育長 ありがとうございます。
ほか、いかがでしょうか。
鈴木委員。

鈴木委員 私も開隆堂出版がいいなと思います。様々なよさがありますけれども、特に学習の最初に示しているキャッチフレーズが、インパクトがあるなと思いました。

両社の3・4年生の上巻の「もくじ」を見ますと、開隆堂出版は、例えば「絵の具と水のハーモニー」、それから、「ようこそ！アミアミワールド」とか、「未来にタイムスリップ」とか、「えっへん！私が主人公です」など、こどもたちがこれらのキャッチフレーズを見ただけで、わくわく感や、これからどんな学習をするんだろうなといった意欲が湧くような言葉を用いていると思います。私は開隆堂出版がいいのかなと思っています。

以上です。

本多教育長 ありがとうございます。
今、絵の具の視点から広がって行って、また、単元の工夫というところでも御指摘があったかなと思います。

今、こどもたちが図工で作品を作って、展覧会で飾ったりしますけれども、そういったところでもキャッチフレーズなりテーマがついていたりしますので、なかなか、確かにこどもたちのイメージが膨らむということがあるかもしれません。

その他、いかがでしょうか。御意見いかがですか。よろしいですか。

それでは、各委員からの御意見を整理させていただきます。

まず、学習の見通しに工夫があること、それから、題材の写真資料がこどもたちにとって分かりやすく活用しやすいこと、材料と用具につい

ての資料が豊富であることなどの理由によりまして、開隆堂出版を採択したいと思いますが、御異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

本 多 教 育 長 御異議ございませんので、図画工作については開隆堂出版を採択することといたします。

続いて、外国語科について審議いたします。各委員におかれましては、教科書の準備をよろしくお願いいたします。

それでは、事務局より説明願います。

指導室長。

飯 塚 指 導 室 長 外国語科は、現行の学習指導要領が全面実施された令和2年度から開始された教科です。

外国語科においては、外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による「聞くこと」「読むこと」「話すこと」「書くこと」の言語活動を通してコミュニケーションを図るための基礎となる資質・能力を育成することを目指しております。

なお、採択資料作成委員会で話題となった主なポイントは、英語の指導内容について、英語スタンダードについて、学習の見通しと振り返りについて、児童の使いやすさについて、教員の指導のしやすさについて、以上でございます。

本 多 教 育 長 それでは、外国語（英語）について御審議いただきたいと思います。

御意見のある方、いかがでしょうか。

安部委員。

安 部 委 員 私は、本区のこどもたちには、英語を楽しみながら学習し、英語嫌いのこどもたちをつくらないということが一番大事ではないかなと思っています。

各学校の授業を見てみますと、本区の先生方は、ゲームなどを中心に様々なアクティビティーを取り入れた工夫した授業を実践してくださっているなどと思っています。各社とも、そういった視点で教科書を作られているなど、全体的には感じています。

以上です。

本 多 教 育 長 ありがとうございます。

本田委員。

本 田 委 員 私も全く同じ思いです。そのためには、こどもたちには主体的に学習に取り組んでほしいというふうに本当に思っています。主体的に学習を

進めるためには、こどもたちが学習の進め方、そして振り返りを自分でしっかりと認識することが大切だと思っています。教科書を見てみますと、各社とも学習の目標やゴールを分かりやすく示しているなというふうに思います。

例えば、啓林館では、各ユニットの右上にゴールを示して、ステップとして3つ示して掲載をしていました。開隆堂では、同様に各レッスンの右上にゴールを大きな文字で掲載しています。ページで言うと、啓林館だと47ページで、開隆堂は97ページを見ておりました。ここは非常に分かりやすく掲載されていて、いいなと感じた点です。

以上です。

本多教育長 ありがとうございます。

先ほど事務局から説明もありましたが、令和2年度から開始された教科で、実際に使ってみて、それらを踏まえて、各社ともにさらに工夫をされているところがあるのかなと思います。

ほか、いかがでしょうか。

鈴木委員。

鈴木委員 私も、学習の目標と振り返りについての重要性は同感であります。

私が注目したのは、東京書籍と三省堂です。東京書籍、5年生のユニット4では、身近な人について紹介しようという学習目標が示されたんですけども、同時に二次元コード、「Our Goal」として掲載されておりまして。二次元コードを読み取って見たんですけども、ある児童と外国の方の2名がともに身近な人について紹介し合うという場面が動画として見る点ができる点が良いと思いました。

三省堂は、ユニットの最初のページに、ユニットを通してどんなことが身につくかが示されていて、その上で、自分の具体的な目標を立てることができるようになっていきます。他社にはない特徴で、この点が良いなと思いました。

以上です。

本多教育長 ありがとうございます。各社独自というところで、「Our Goal」と示しているところ、「My Goal」と示しているところ、この微かな違いはあるなとも思います。

ほか、いかがでしょうか。

浅野委員。

浅野委員 他教科と同じように、教科書の大きさなどを見てみますと、教育出版と光村図書出版がA B判で、そのほかはA 4判です。開隆堂出版、光村図書出版、啓林館が、他社に比べて厚みがあるように感じます。もちろ

ん、内容が大切だと思いますが、英語は学習者用デジタル教科書もありますし、デジタル教科書を使うとなれば、タブレット端末を活用した学習が中心となってくると思います。教科書にある二次元コードを有効に活用することを考えると、できれば薄い教科書のほうがよいと思います。以上です。

本 多 教 育 長 ありがとうございます。

今、浅野委員がおっしゃいましたけれども、デジタル教科書、全ての学校、全てのクラスほとんどで、英語の授業では映像を使って、デジタル教科書を使っている授業というのは当たり前のように行われているところもありますし、視覚的、それから音声もそうですが、そこを使っていくというのは非常に重要なポイントになっていくかなというふうに思います。ありがとうございます。

また、今の大きさの話も昨今出ておりますけれども、大事なポイントなのかなと思っています。

ありがとうございます。

ほか、いかがでしょうか。

鈴木委員。

鈴 木 委 員 私は、英語スタンダードとの関わりも大切な視点だと思っています。スタンダードの定着度調査では、英語を使っただけの買物の場面だったり、道案内の場面だったり、そういった問題の正答率が他の問題より低くなる傾向があると聞いています。

こういった実態も踏まえて、英語スタンダードの「積極的にコミュニケーションをとること」や、「英語でやりとりし、道案内や将来の夢を話せる力を伸ばせる」ことが大切だろうと思います。

以上です。

本 多 教 育 長 ありがとうございます。

ほか、いかがでしょうか。

本田委員。

本 田 委 員 同じように思います。英語スタンダードに「英語で将来の夢を話します」というのがありますので、その視点で見たいと思います。

それと、各社、6年生の後半部分に「My Dream」などをテーマに掲載されていました。各社とも、様々な職業の言い方を知る部分があったり、ゲームを活用してつきたい職業や理由を尋ね合う実践例などが掲載されてあったりしています。

例えば、教育出版の63ページでは、つきたい職業について、友達同士で尋ね合い、分かったことがメモができるような、実際に教科書に書

き込める工夫がされていました。友達の名前やつきたい職業、そしてその理由を表にして実際に書き込める工夫がされていて、ほかにも、東京書籍、啓林館、開隆堂出版も同じ工夫がされていました。

一方、三省堂と光村図書出版は、書き込むスペースは最小限にされているなどというふうに感じました。

以上です。

本 多 教 育 長 ありがとうございます。

今、お2人から出てきたコミュニケーションという部分は非常に大事で、本区の場合は英語スタンダードがあつて、それを子どもたちにしっかり身につけさせるためにどういうコミュニケーションが必要かということで、英語スタンダードの指導資料というのを作っていて、そういったところと教科書との関連を図りながら先生方に御指導していただいているところです。

今、ポイントとして本田委員が最後におっしゃった書き込むスペース、そこが最小限というのは、あえて大事なポイントかなと思います。コミュニケーションを取ることが重要視して、教科書に書き込んだりすることより、そちらを大事にしようというポイントというのは、1つ、大事な視点なのかなというふうに思っています。

ありがとうございます。

ほか、いかがでしょうか。

安部委員。

安 部 委 員 教育長と同じ話になってしまうんですが、先ほど申しましたが、本区でこれまで大切にしてきた英語スタンダードの実践、中でも様々なアクティビティーを取り入れた工夫した授業をより一層重視してほしいと思っています。そのため、授業では、子どもたちに英語でのコミュニケーション能力を向上させるために、英語をたくさん聞いて、そしてたくさん話してほしいと思っています。

先ほど本田委員もおっしゃっていた書き込むスペースの話についてですが、英語で書くことももちろん大切だと思うんですけども、今伝えた授業でのコミュニケーションを大事にしてほしいという思いから、私は、書き込むスペースを最小限にしている三省堂さんや光村図書出版のほうがいいかなと感じています。

以上です。

本 多 教 育 長 ありがとうございます。

今、安部委員から御指摘があつた三省堂、光村図書出版は、書き込みスペースを少なめにしているというところで、本田委員から、私も付け加えて話をさせていただきましたけれども、コミュニケーションという

ところを、安部委員がおっしゃったように大事にしていくというところの視点では、あえてそういった調整をこの教科書がしているというところも、確かに大事なのかなというふうに思います。ありがとうございます。

ほか、いかがでしょうか。

浅野委員。

浅野委員 私は、資料5の教科書調査研究資料を見たのですが、331ページに調査研究の総括表があってそれぞれの発行者の5つの領域の活動数が分かります。

例えば、東京書籍、開隆堂出版を見ると、「聞くこと」「話すこと」、これは「やりとり」のほうですが、それと「書くこと」の領域が他の領域よりもかなり多くなっていることが分かります。

一方で、三省堂と教育出版は、全ての領域の活動数がバランスよく入っているようです。中でも、三省堂は活動数も多くてバランスもよいと考え、三省堂の教科書がよいと思います。

以上です。

本多教育長 ありがとうございます。

ただいま、教科書調査研究資料の中からの御指摘ありましたけれども、確かに、この一覧表を見ていきますと、バランスというところでは、今御指摘いただいた三省堂の教科書がバランスがいいかなというのが明確に数字で出てきているのが分かりますね。

ありがとうございます。

その他、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、これまでの各委員の御意見を整理したいと思います。

まず、学習の進め方が分かりやすく、教材が充実していること、英語スタンダードの確実な定着が図られること、そして、全ての領域の活動数がバランスよく、こどもたちのコミュニケーション能力の向上が期待できること等の理由により、三省堂を採択したいと思います、御異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

本多教育長 御異議ございませんので、英語については三省堂を採択することといたします。

以上で、本日予定しておりました教科・分野の教科書についての協議は終了いたしました。

ここで、改めて本日の協議で採択を決定した教科用図書について、教科名と発行者名を確認させていただきたいと思います。

国語、光村図書出版。書写、光村図書出版。算数、東京書籍。生活、教育出版。音楽、教育芸術社。図画工作、開隆堂出版。外国語（英語）、

三省堂。

以上となります。

ただいま各教科の採択結果について確認させていただきましたが、御異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

本 多 教 育 長 御異議ありませんので、本日御協議いただいた教科用図書については、ただいま確認させていただいたように決定したいと思います。

今回は、社会、地図、理科、家庭、保健、特別の教科道徳の6つと、特別支援学級について御審議いただき、採択してまいります。

それでは、以上で本日の審議が終了いたしましたので、傍聴人の方は事務局の指示に従い御退室願います。ありがとうございました。

それでは、以上をもちまして、令和5年第4回江東区教育委員会臨時会を閉会いたします。お疲れさまでした。